

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 9月 9日 更新

事務事業名		合志ブランド認証品通販サイト構築事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	政策部
	施策	12	商工業の振興			所属課	商工振興課
	施策の柱	36	生産・販売力の強化			所属班	商工振興班
予算科目		会計一般	款	項	目	事業連番	根拠法令
終了、開始年度		☒ 27年度で終了 ☐ 27年度から開始		事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 26 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)	
		成果優先度評価結果 : コスト削減優先度評価結果 :					

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	一般社団法人「クラッシーノこうし」が、ブランド認証品26品目を中心に、地域内生産品の通販サイト構築による販路拡大、魅力発信事業を行なう。 サイト利用者には開設記念販売価格として割引(3割)を行う。 平成26年度補正予算による事業で、平成27年度に実施。
【業務の流れ】	・補助金申請受付、交付決定、概算払い、実績報告、確定通知、精算 ・事業実施内容に関して一般社団法人クラッシーノこうしと随時協議
【主な予算費目】	交付金(平成26年度繰越)
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分: 新規	
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO) 26年度補正予算による事業で、27年度中に実施・完了した。 サイトは平成27年9月末に開設され、平成27年12月まで割引価格での販売を実施。 割引販売は予算額を達成することができた。		28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 本事業としては今年度で終了したが、通販サイトは継続するため、クラッシーノこうし運営支援事業の中でフォローしていく。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
⇒ ア: 取扱事業者数	社	なし	
⇒ イ:			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市内事業者		⇒ ア: 取扱商品数	品目
		⇒ イ:	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
市内生産品の魅力をPRすることで、販路拡大につなげる。		⇒ ア: 売上高	千円
		⇒ イ: 購入者数	人
* ③ 成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠 27年度中に実施・終了する事業のため、27年度のみ指標を設定。			総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
投 入 費 用 量	事業費	① 活動指標	⇒ ア: 社			20	6			
		⇒ イ:								
		② 対象指標	⇒ ア: 品目			20	21			
		⇒ イ:								
		③ 成果指標	⇒ ア: 千円			1,560	1,009			
		⇒ イ: 人				300	326			
	経費	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円							
	人件費	(A) 事業費計	千円			0	0			
		(A)のうち指定経費	千円			0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0			
		正規職員従事人数	人			0	1			
	人件費	延べ業務時間	時間			0	20			
		(B) 人件費計	千円			0	74			
	トータルコスト(A)+(B)		千円			0	74			

事務事業名	合志ブランド認証品通販サイト構築事業	所属部	政策部	所属課	商工振興課
-------	--------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 利用者が少なかったものの、客単価が高かったため、ほぼ目標に近い売上高を達成することができた。 3割引での販売効果があったものと思われる。
	②28年度目標達成見込み	☐ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 職員の人件費は計上していないため削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 購入対象者に制限はないため、公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 クラッシーノこうしが実施し、市の役割は補助金の交付および実施内容に関する協議であるため、分担は適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 本事業は平成27年度で終了するが、今後はクラッシーノこうし運営支援事業の中で、フォローを続けていく。 想定どおりの売上が得られたが、取扱事業者数・利用者数共に見込みより少なく、いかに増やしていくかが課題。 平成28年2月開設のアンテナショップと併せ、成果を高めていく。		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								